済生会横浜市南部病院 在宅緩和ケア連携シート 2014.10.17 改訂								南部病院	担当科名 担当者名							
2014.10.1/ CX ii								訪問診療担当	訪問診療担当施設							
患者氏名		生年月日	生年月日		月 日 年齢		年齢		歳	訪問看護担当施設						
9の情報	疾患名					□痛み(部位: □呼吸困難) □吐気•嘔吐)					パス	、開始日	年	月 日
	がんの 部位				主な症状	□腹部膨満 □浮腫	□全身倦怠感 □便 秘·下 痢	惑 痢			本人		アワ	ナトカム	安心して在宅療養を	継続できる
				現在の		□不安・抑うつ □しびれ	□せん妄・認知 □その他(知症)	連携		□強い □中間 □消極的		対	象患者	在宅緩和ケアを必要	とするがん患者
	□肺			状態	オピオイド	口なし 口内服口持続注射	录 □貼付剤 □실	坐剤								
	□骨				経口摂取	□無 □数□和	程度 □少量 ロ: 胃ろうなど	普通			パ ス 関	ス				
	□脳				PS			□ 4	. の 情 報	在宅希望		連 情 報			□病状の理解ができている □在宅療養の希望がある □抗がん治療を終了している □STAS-J 0~2である	
	□髄膜 □肝					□イレウス □吐血・喀血	□腹水貯留		¥IX		家族					
	□腹膜				起こりうる病態	□体表の癌の自壊・ 態 □胸水貯留 □嚥□	自壊・出血 □嚥下困難・食道	壊∙出血 嚥下困難∙食道狭窄			□強い □中間				□地域連携パスを用いた診療に同意している □予後の見通しが週単位以上である	
	ロリンパ節			今後の 予測				全)			□消極的					
					 見通し		歴め月単位 □週]単位								
経過 (病状の変化の目安)			月ごとの変化				日ごとの病状 (臨死期)			パス	継続の検討事項				バリアンス発生師	寺の対応
南部	i	診察/検査/治療 適宜			訪問診療担当施設・訪問看護担当施設からの診療依頼を受ける			る	1 [· エ ヨの末で	5.18.4 A 18.A	+ 1			入院の場合	死亡の場合
病院		その他適宜			訪問診療担当施設、訪問看護担当施設からの相談を受ける					家族、訪問診	* 下記の事項があった場合、ス 家族、訪問診療担当施設、訪「 旦当施設で相談する。			南部病院	入院を受ける	訪問診療担当施設・訪問看護担当施設へ 文書で報告
訪問診療担当施設		訪問の目安隔週			週1回以上 随時					□症状マネジメン		困難		訪問診療	南部病院に連絡	
		診察		STAS-Jを使用して適宜評価					□病状の悪化に。 □経口摂取減 □ADL低下							
		検査/治療緩和ケア研修会テ			ストに基づいた症状マネジメント(WHO方式疼痛マネジメント)			ジメント)		□看取り □その他				想 担 当	及び情報提供	南部病院に文書で報告
		その他				患者・家族の不安への対処 訪問看護担当施設と密な連絡				口その他				施 設		
訪問看護担当	アセスメント				STAS-Jを使用して適宜評価					* 死亡時は/	E亡時はパスを中止する			訪問	訪問診療担当施設	
		緩和ケア研修会テキスト!: 看護介入				基づいた症状マネジメント(WHO方式疼痛マネジメント) 生活支援 患者・家族の不安への対処				パス継続	継続パス中止			看 護 担 当	に連絡・相談 入院決定 ⇒南部病院に連絡	
施設		その他				訪問診療担当施設と密な連絡 ケアマネジャー・ヘルパーと連携								施設	及び情報提供	